

「2015年香港中文大学インターナショナルサマースクール(英語コース)参加報告書」

京都大学農学部4年 水島 洸

①学習成果

今年の3月に国際交流科目で昆明理工大学に行った際に、昆明理工大学の学生と交流し、いかに自分が海外の情勢や文化に無関心なのかを実感していたので、その点において大きな変化はありません。ただし、一つ驚いたことは香港中文大学サマースクールに参加しているときに友達との日常的な会話で何度も欧米で起きた事件や欧米の過去の歴史について話していたことです。アメリカ出身の人がイギリスのニュースを仕入れて話題にすることのような自分の国以外のニュースを仕入れて会話することはよくあるようで、その様な自分の国以外で起きた事件について話をするというのがとても新鮮でした。歴史の話は専ら戦争や近代から現代の発展や文化などの内容が多かったです。私は歴史にすごく弱いのでこの辺を今後勉強していこうと思いました。

②海外での経験

今回の留学で驚いたのは、英語を話すスピードが速いこと、学生が授業中に手を上げる頻度、香港が日本語であふれていること、日本のパスポートが便利なこと、日本のことが嫌いな人が減多にいないこと、香港では職が足りず何でも仕事になっていることです。

英語について不思議だったのは、私にとって発音が聞き取りづらい人がいたのですが、他国の友達はその人との会話を聞き返すこと無く会話を楽しんでいて、私が聞き取りやすいと自分で思っている発音で話すと聞き取れなかったようで聞き返されるということが何度もあったことです。私は文法が苦手で、話している英語のほとんどは文法が間違っていると思うので、そのせいかもしれませんがそうだとするととても不思議でした。他に考えられる原因として、私の発する英語の発音が英語圏の人の持つ発音の多様性の特徴を持っていない所為なのかもしれません。

日本以外の多くの国では、授業中にわからないと事があつたらすぐに手を上げて質問をするという文化があると聞いていたので、実際に目の当たりにしたときは感動しました。しかし、確かに時には良い質問をしますが、ほとんどの場合は以前に先生が説明した内容や教科書に書いている内容ばかりで、正直なところ授業妨害のように感じました。しかし、たくさんの質問の中から時にはとても価値のある質問も出てくるので、その点は良いと思いました。

香港は、日本の観光客や会社員が多く訪れる為か、日本語であふれていました。スーパーマーケットに行くと日本から輸入した商品がたくさん並び、香港の友達にも日本の食事は美味しいからよく食べると言われました。観光地にも広東語の説明、英語の説明、中国の説明、日本語の説明、と4言語並んでいるところ、時には広東語と日本語だけの説明が載っているところもありました。

日本のパスポートは中国、アメリカと入国が難しいと言われる国にVISAなしで入れます。しかし、不思議なことに、香港人は中国に入る為に2年間の有効期限をもった入国カードを持っていないと入国できず、その逆も然りだそうです。香港からは深圳に近い為、友達と行ったのですが友達のほとんどはVISAをとらないと入国できなかった為、その時に中国にVISAなしで入れることがいかにすごいことなのかを知りました。

日本が好かれる理由は大きく分けて3つありました。高品質電化製品、日本食、日本文化(アニメ、書籍、神社仏閣)の3つです。ほとんどの友達は日本食が大好きだといっていましたし、日本のアニメもすごく海外でも浸透していて、それらの内容について聞かれることが多かったように思われます。たった、1億2千万の人口とあれだけ小さい島国なのに世界中に文化が知られており、好かれているというのがとても驚き、日本という国を誇りに思い、もっと日本を知りたいと思うようになりました。

③プログラム内容

私が受講したのは、中国語の基礎コースでした。文法と会話の2コースです。香港中文大学は元々中国語を教える為に作られた学校であったため、教え方はとても良かったと思います。文法では文法事項と漢字を学び、会話では漢字はあまり触れずに、発音と単語と大まかな文構造を学んで先生が中国語で話してくるのでそれに【中国語で話返すというものでした。初めは中国語になれていない為、聞き取れないし意味もわかりませんでした。後半になってくると、耳も慣れてきて聞こえるし話せるようになってきました。私が経験した英語の学習と全く違っていたのでとても新鮮で、今後活かして行きたいと思うものでした。中国語の基礎は今回の授業でマスターしたので今後は参考書を使って自分で勉強をしていくつもりです。

④進路への影響

大学院に進学した後、私は一年間交換留学のシステムを使って海外留学へ行く予定です。このことは、香港中文大学インターナショナルサマースクールに参加する以前から考えていました。しかし、行き先は英語圏だけに絞っていました。しかし、現在は、半年は英語圏、残りの半年は中国語圏に留学したいと思っています。今回参加したサマースクールには色々な国の学生が参加していました。しかし、その多くは英語圏に現在留学している人、及び過去に英語圏へ留学したことのある人ばかりでした。そのため、彼らの話す英語の早さやスラングが多く、うまく聞き取ることができずに悔しい思いをしました。英語が母語で無い友達にどこでどのようにして英語

を勉強しそこまで話せるようになったのかを聞いてみると、6ヶ月英語圏へ留学またはインターンシップに参加していたという解答の人が多くいました。私の勝手な考えですが、言語はその国で6ヶ月ほど学べば、話せるようになるのだと理解しました。そのため、半年は英語圏、残り半年は中国語圏に留学したいと思うようになりました。

他言語を学ぶと言うことはその言葉を話す国の文化を理解すると同時に、その言語でしか表せない意味を伝えることができるため、他国の人と交流するときにとっても大切なツールだと思い、優先順位は英語、中国語、スペイン語ですが全て習得したいと思っています。

今回の留学は時間、金額以上に様々な経験と出会いをさせて頂きました。とても、自分の成長に役に立っています。派遣していただきありがとうございました。